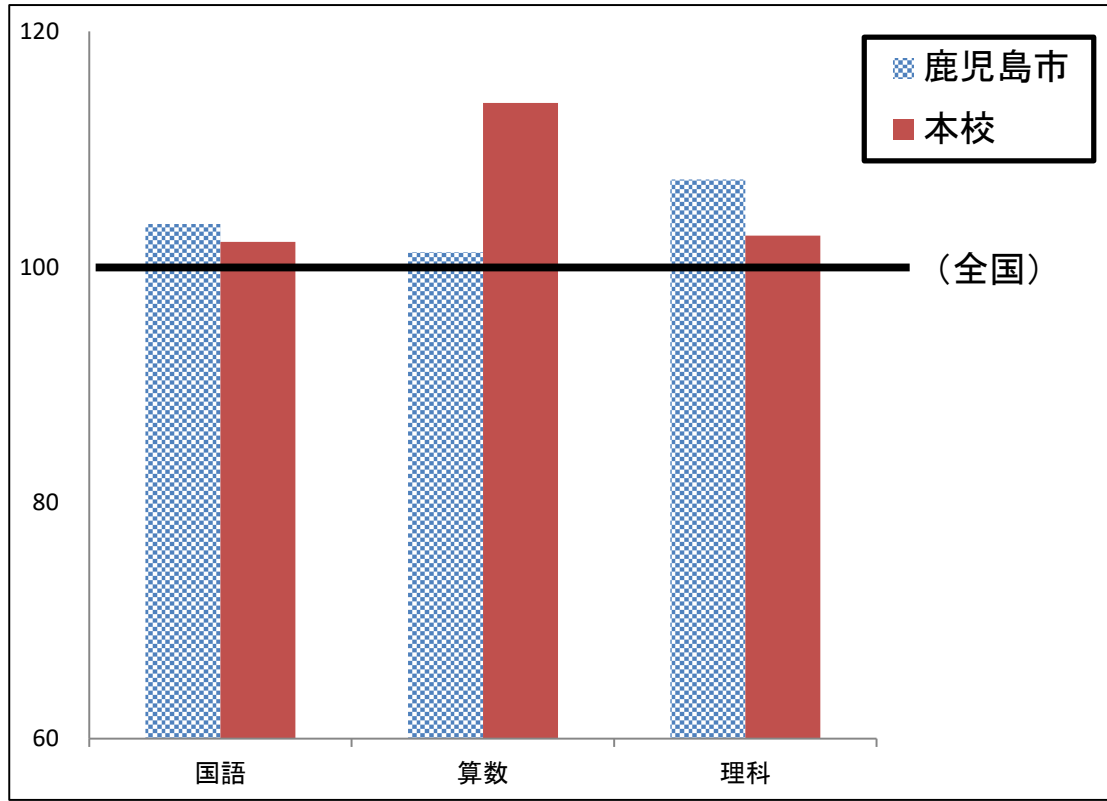


令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

花尾小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

文章に対する感想や意見を伝えあい、自分の文章のよいところを見付けることに課題がある。日頃から感想や自分の考えを交流する機会を多く設定し、1年生からの系統性を全職員が意識しながら指導していくようにする。

話し言葉と書き言葉との違いを理解することに課題が見られた。話し言葉では同音異義語を意味によって区別しなければならないことを体験等から考える機会を設定する。

〈算数〉

二つの数量の関係について考察することに課題が見られた。「飲み物の量が二分の一になると果汁の割合も二分の一になります。」との答えが多かったことから、割合についての概念が十分に身に付いていないと考えられる。児童にとって身近な生活場面と対応させながら割合について理解させたり、図や式などを用いて表現させる活動を取り入れたりする。

〈理科〉

得た情報を他者の気付きの視点で分析、解釈し、自分の考えをもち表現することに課題が見られた。問題を教師が与えるのではなく、これまでの経験や他者との交流の中で差異や共通点をもとに児童自身が問題を見出していけるような授業改善を行う。

実験においては、実験計画の段階から条件制御を児童と確かめながら行い、結果を条件に沿って一つ一つ整理させ、そこからいえることなどを話し合わせるなどの活動を充実させ、根拠をもって自分の言葉でまとめさせる機会を増やす。

〈全体的に〉

家庭での学習や読書の時間が少ない児童がいる。家庭学習の方法について指導を行い質の向上を図るとともに、各学年の目標時間を再度確認し、量の増加も目指す。

国語の学習への意欲が低い。児童が主体的に学習に取り組めるように、単元を通して見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自分の変容を自覚できる授業づくりを行う。

地域や社会へ貢献する意欲が低い。地域や社会との関わりをこれまでの体験等から考察し、自分たちにできることを考えるような取組を通して、自らもその一員であることの自覚を高める活動を行う。